

第27回「くまもと県民文化賞」受賞者一覧

(別紙)

平成29年1月4日
文化企画・世界遺産推進課

部門	整理番号	受賞者・団体名 年齢 代表者氏名 推薦団体 (居住地)	分野 (活動開始時期)	受賞理由
本 賞	①	【個人】 厚賀 新八郎 (あつが しんはちろう) (73歳)	伝統工芸 (昭和38年) 	○ 本県の伝統的工芸品に指定されている「おばけの金太」を半世紀以上にわたって制作するとともに、人形づくり教室の開催を通じて、からくりの仕組みや郷土玩具の楽しさを広く伝える活動に尽力するなど、本県の文化振興に貢献している。
		熊本市 (熊本市)		
	②	【団体】 熊本いけばな芸術協会 (くまもといけばなげいじゅつきょうかい) 代表: 池本 翠郊 (いけもと すいこう)	華道 (昭和22年) 	○ 華道の分野において、流派を超えて大同団結し、長い期間にわたり合同花展を開催するとともに、若手の育成に努めるなどいけばなの普及継承に尽力し、本県の文化振興に貢献している。
		熊本県文化協会 (熊本市)		
	③	【団体】 肥後ちゃぼ保存会 (ひごちやぼぼぞんかい) 代表: 松壽 正治 (まつさき まさはる)	文化的資源の保存、 継承、調査 (昭和43年) 	○ 展示会や飼育方法の研修会、会誌『肥後ちゃぼ』の発行をはじめ、育種、管理指導、熊本市動植物園への種鶏の提供など、国の天然記念物である肥後ちゃぼの普及保存活動に尽力し、本県の文化振興に貢献している。
		熊本県教育委員会 (熊本市)		
	④	【団体】 吉原岩戸神楽保存会 (よしわらいわとかぐらぼぞんかい) 代表: 佐藤 郁雄 (さとう いくお)	伝統芸能 (明治27年) 	○ 国の無形民俗文化財に選定されている「吉原岩戸神楽」を、120年以上にわたり当時と変わらぬ姿で保存・継承するとともに、年間を通じ多くのイベントで神楽の披露を行うなど、神楽の普及に尽力し、本県の文化振興に貢献している。
		南小国町 (南小国町)		
夢 部 門	⑤	【個人】 井 麻優香 (い まゆか) (17歳)	手話/スピーチ (平成27年) 	○ 平成28年8月27日に開催された、第33回「全国高校生の手話によるスピーチコンテスト」において、第一位を受賞した。
		熊本県教育委員会 (阿蘇市)		
	⑥	【個人】 小路永 和奈 (しょうじなが かずな) (30歳)	邦楽(箏) (平成8年) 	○ 平成27年12月6日に開催された、第22回賢順記念くめ全国箏曲コンクールにおいて、賢順賞(第一位)を受賞した。
		熊本市 (熊本市)		
	⑦	【団体】 鎮西高等学校ダンス部 (ちんせいこうとうがっこうだんすぶ) 代表: 上田 祐規 (うえだ ゆうき)	ダンス (平成26年) 	○ 平成28年6月4日、5日に開催された、第4回日本ダンス大会において優勝するとともに、平成28年9月18日に開催された、第6回全日本高等学校チームダンス選手権において文部科学大臣賞(総合優勝)を受賞した。
		熊本市 (熊本市)		

* 年齢は、平成29年1月4日現在